

## 令和3年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

## 【めざす学校像】

- 校風・校是「自由と創造」「日新日進」のもと、生徒一人ひとりが自分の色を輝かせ、他者を思いやることにより、全体で虹の架かる学校
- 将来の「大阪」とグローバル化に対応する人材と「大阪の教育」をリードする教員が育つ学校
- 生徒・保護者・地域住民から信頼される学校

## 【生徒に育みたい力】

- 強靱な知性・みずみずしい感性・品格ある人間性
- 確かな学力（自己実現のための学力、知的好奇心、探究心 等）
- 生きる力（客観的事象分析・問題解決能力、意見表明・プレゼンテーション能力 等）
- 豊かな心（生命・人権の尊重、規範意識、異文化理解、多文化共生 等）
- 社会参加力（社会参加、社会貢献 等）

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力を踏まえつつ、高い志を育み、進路実現をめざす取組みの推進

## (1) 生徒のもつ学力を最大限に引き出す

## ア 魅力ある授業の実施

効果的な補助教材の作成、教員の指導技術の一層の向上に努めるとともに、新学習指導要領や高大接続改革、1人1台端末の導入を踏まえて、「主体的・対話的で深い学び」の推進と大学進学実績向上の両立をめざす「新高津授業メソッド」の構築をめざす。

\*生徒向け授業アンケートの項目8・9（内容に興味・関心が持てた・知識や技能が身についた）の平均点（H30:3.23、R1:3.32、R2:3.34/4点満点）を令和3年度以降も3.2以上で維持する。

## イ 講習・補習の充実

放課後、土曜日、長期休業中等の講習内容を充実させ、進路実現に向けた指導を行う

\*難関国立大学（京都大、大阪大、神戸大）への合格者数（現役生+既卒生/H30:68人（東京大を含む）、R1:75人、R2:53人）を、令和3年度までに80人以上とし、一層の増加に努める

\*国公立大学への現役生の合格者数（H30:130人、R1:139人、R2:141人）を、令和5年度まで130人以上で維持し続ける

## ウ 英語運用能力の向上

英語での授業を基本としつつ、外部試験等を活用し、英語コミュニケーション能力の目標を明確に示すことで、生徒の英語運用能力を総合的に高める

\*12月実施予定のGTECにおいて、CEFR B1（R1:122人、R2:165人）を令和5年度まで130人以上で維持し続ける

\*KITEC（ネイティブスピーカーの方々を多数招聘し、少人数に分かれて一日英語漬けで会話能力の向上をめざす企画）を令和5年度まで継続し、KITECを通して、英語に対する興味・関心、運用能力が向上したと回答した生徒の割合（R1:98%、R2:93%）を95%以上で維持し続ける

## (2) 生徒の科学的素養を拡大・定着させ、探究心を高める

## ア 文理学科「課題探究講座」（文系・理系・文理融合）の内容のさらなる充実と全校生徒での共有

\*2年生の「課題研究」に対する満足度をさらに高めるとともに、課題研究発表会の生徒参加数（H30:720人、R1:720人）を、令和5年度まで700人以上で維持する

## イ 創造探究事業（大学や企業・研究機関との連携）の内容の充実

\*文理学科1・2年生の外部連携事業への延べ参加者数（H30:1543人、R1:2122人、R2:1827人）を、令和5年度まで1,500人以上で維持し続ける

## ウ 海外の科学先進校等との交流の推進

海外の科学先進校等との共同研究や共同発表会等を実施するなど、交流内容をさらに充実させる

\*交流日数（H30:5日、R1年度:8日）について、令和5年度まで4日以上で維持し続ける

## (3) 進路指導をさらに充実させる

## ア 自己実現に向けた体験型進路学習（職場訪問、大学研究室訪問）の充実

1年生は、望ましい職業観・勤労観を育成することを目標に、訪問時のインタビューの精度を高めるとともに、プレゼンテーションの質的向上を図る

2年生は、大学における学問・研究に対する理解促進を目標に、生徒同士が学んだ内容について実施するポスターセッションの質的向上を図る

\*1・2年生とも訪問先（1年生H30:63カ所、R1:63カ所、R2:63カ所 2年生H30:49カ所、R1:52カ所、R2:46カ所）を、令和5年度まで各50カ所以上、生徒満足度（H30:95%、R1:96%、R2:97%）を90%以上で維持し続ける

## イ 3年間を見据えたキャリア教育の充実

学校として確立した進路指導方針（高津進路プログラム：KSP）に基づき、学年の進路指導ホームルームや進路説明会をより系統的に計画・実施する

\*学校教育自己診断の進路指導への満足度（生徒H30:80%、R1:85%、R2:91%・保護者H30:81%、R1:81%、R2:82%）を、令和5年度までともに80%以上で維持する

## 2 スクールアイデンティティに基づく、豊かな心の育みと規律・規範の確立

## (1) 人権尊重と生徒の社会体験活動の促進

\*学校教育自己診断の人権に関する指導に対する肯定率（生徒H30:82%、R1:85%、R2:89% 保護者H30:82%、R1:82%、R2:83%）を、令和3年度までに、ともに85%以上に引きあげる

\*部活動参加生徒による「高津キャラバン隊」の実施クラブ率（H30:100%、R1:100%）を、令和5年度まで90%以上で維持し続ける

## (2) 規律・規範意識の向上

\*年間の遅刻者総数（H30:2,041件、R1:2,128件、R2:2,377件）を、令和5年度まで2,000件以下で維持し続ける

## (3) 生徒の自主的活動の活性化（部活動、生徒自治会活動）

\*部活動加入率（H30:86%、R1:86%、R2:89%）を、令和5年度まで85%以上で維持し、一層の増加に努める

\*生徒向け学校教育自己診断の自治会活動に対する肯定率（H30:64%、R1:68%、R2:72%）を、令和5年度までに70%以上で維持し続ける

## (4) きめ細やかな保健指導と教育相談体制の充実

\*生徒向け学校教育自己診断の保健室利用、教育相談に対する満足度（「わからない」を除く/H30:84%、R1:88%、R2:89%）を、令和5年度まで80%以上で維持し、一層の向上に努める

## 3 教職員の資質向上と学校運営体制の確立

## (1) 教科指導力の向上

\*生徒向け授業アンケートの全項目平均値（H30:3.23、R1:3.34、R2:3.36/4点満点）を、令和5年度まで3.2以上で維持し続ける

## (2) 研修の充実

\*教職員向け学校教育自己診断の校内研修に関する肯定率（H30:90%、R1:79%、R2:90%）を、令和5年度まで80%以上で維持し続ける

## (3) ミドルリーダーの育成と経験の少ない教員のさらなる資質向上

\*教職員向け学校教育自己診断のミドルリーダー育成に関する肯定率（H30:80%、R1:82%、R2:81%）を、令和5年度まで75%以上で維持し続ける

## (4) 学校の組織的運営、校務の効率化及び情報共有

\*教職員向け学校教育自己診断の各分掌や学年・教科等の円滑な連携等に対する肯定的意見（H30:80%、R1:81%、R2:85%）を、令和5年度まで75%以上で維持し続ける

## (5) ICT活用ならびに実験・実習、体験的な教科指導の充実

\*生徒向け学校教育自己診断のICT活用に対する満足度（H30：90%、R1：94%、R2：94%）を、令和5年度まで90%以上で維持し続ける

## (6) 地域に開かれた学校づくりの推進

\*生徒による社会体験・貢献活動（ボランティア講座、支援学校との交流、部活動参加生徒によるキャラバン隊等）をさらに活性化させる

\*本校が行っている教育活動について、学校説明会や学校HP等を通じて、中学生やその保護者に積極的にアピールする。

## (7) 社会全体の「働き方改革」の流れを踏まえた、(校内)安全衛生委員会機能のさらなる向上

\*教職員向け学校教育自己診断の教育活動に関する悩みや疑問の気軽な相談についての肯定率（H30：85%、R1：85%、R2：79%）を、令和5年度まで80%以上で維持する

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【生徒】</b> 「本校の授業はわかりやすい」「土曜日や長期休業中の講習や補修（平日実施分を含む）は、自分の学力向上や希望進路の実現に役立っている」などの設問で、肯定的回答が増加しており、本校の学力向上の取り組みは生徒たちに理解されていると考えられる。 「本校の生徒指導の方針に共感できる」「本校の自治会活動は充実しており、活動時間や活動内容は適切である」で肯定的回答が増加しており、本校の生徒指導は自治会を含めて生徒への理解が進んでいるといえる。 「本校の教室・廊下・トイレ等の環境は、学習の場にふさわしく清潔に保たれている」では、昨年度よりも肯定的回答が増加しており、長年不評であったトイレの改修が行われたことにより、環境の改善が図られたことが理解されている。 一方、「本校の授業には、プロジェクター、コンピューター等のICT機器や生徒の1人1台端末が効果的に活用されている」について、53%と肯定的回答が少なく、本年度10月に配備された1人1台端末の活用を進めていく必要がある。</p> <p><b>【保護者】</b> 「本校のPTA活動は充実している」「本校の授業参観や学校行事に参加したことがある」の設問で、肯定的回答が減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響で保護者が来校できる機会が減少したことの影響が大きく出ている。</p> <p><b>【教員】</b> 「本校の教職員は、生徒の人権を尊重した指導を行っており、体罰やセクハラはない」の設問で肯定的回答が増加しており、人権尊重の意識は広まっていると考えられる。 「本校の教育活動は、学校経営計画に基づき、組織的かつ適切に行われている」「私（回答者）は、学校運営に積極的に参加・参画している」「本校は、教育活動に関する悩みや疑問について、互いに気軽に相談できる職場である」などの設問で肯定的回答が減少しており、教職員間での情報共有やコミュニケーションがしにくい状況があると思われる。新型コロナウイルスの影響があると思われるが、さらなる情報共有、コミュニケーションを進めるための方策を考える必要が生じている。 「本校では、経験の少ない教員や次世代リーダーを計画的に育成できている」の設問で肯定的回答が減少したが、生徒の進学実績が伸びており、少数のリーダーの育成よりも全体的な指導力の向上は進んでいると考えられる。</p>	<p>第1回（7/21）</p> <p><b>【コロナ禍の高津高校の活動状況について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者も生徒の学校生活を見ることが出来ず、つらい思いをしている。文化祭は、OBや保護者等も参加できるのか。どんな形でも見られたらよい。同窓会も見学・参加ができなくなっている。</li> <li>・学校行事のオンライン利用はできないか。</li> <li>・高津高校の新型コロナウイルス感染状況、精神的不安による欠席はどうか。</li> <li>・2年連続このような状況だと、いろんな行事がなくなることで、上級生から下級生への伝承が難しくなり、学校行事やクラブ活動が成立しにくくなるのではないか。</li> </ul> <p><b>【令和3年度学校経営計画の進捗状況について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一志望に落ちて、挫折感をもって入ってくる大学生がいる。自分の入った大学を好きになって、夢や目標に向かって前向きに進んでいくような生徒を育てて欲しい。</li> <li>・同窓会総会で様々な人生を歩まれている卒業生（例えばアメリカでトレーナー学を学び、初の女性トレーナーとなった方）を紹介することを計画している。</li> <li>・「他者を思いやる」「自由を守る」「安心・安全な学校生活」は与えられるものでなく、みんなで作っていくという姿勢をめざす教育がいいと思う。</li> <li>・保育園や職場体験で高津高校の生徒の評判が良いと聞いている。</li> </ul> <p><b>【令和3年度GULSについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日だけでなく休日の開催希望はないか。</li> <li>・対面だけでなくオンラインもいいのではないか。留学生も精神的に大変なのでこのような取り組みはありがたい。</li> </ul> <p>第2回（12/23）</p> <p><b>【国際交流について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの時代での国際交流について、オンライン等による広がりや対面での深まりをバランスよく取り入れてほしい。</li> </ul> <p><b>【新高津授業メソッドについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成形はそのようなものを想定しているのか。 →観点別学習状況の評価などが入ってくる中、新しいものを取り入れながら常に進化していけるものでありたいと思っている。</li> </ul> <p><b>【数値目標の設定について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに達成しているものもあるが、どのような基準で設定しているのか。 →数値を達成することが目標ではなく、学校の目標のために必要な指標として軽重をつけながら進めていきたい。</li> </ul> <p><b>【コロナ禍での心のケアについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このような状態が続くと抑うつ的な生徒も増えると思われるので細かなケアを行ってほしい。</li> <li>・生徒のみならず先生方の心のケアも大切にほしい。</li> </ul> <p><b>【地域連携等について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携先にも意見を言いつつ、生徒の主体的で継続的な取り組みも行っていてほしい。</li> </ul> <p><b>【研究室訪問について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望と異なる研究室に訪問することになったという意見を聞いている。 →できるだけ希望に沿うようにしているが、不可能な部分もある。研究の内容より、研究することのプロセスなどを学ぶように指導している。</li> </ul>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 確かな学力をふまえて、高い志をはぐくみ、進路実現をめざす取組み	<p>(1)生徒のもつ学力を最大限引き出す ア. 魅力ある授業の実施(「高津授業メソッド」の深化)</p> <p>イ. 英語運用能力(4技能)の向上</p> <p>(2)海外の科学先進校等との交流促進 ア. 交流対象校との交流内容の充実</p> <p>(3)進路指導をさらに充実させる ア. 体験型進路学習の一層の充実</p>	<p>(1) ア・新学習指導要領や高大接続改革、1人1台端末の導入を踏まえて、「主体的・対話的で深い学び」の推進と大学進学実績向上の両立をめざす「新高津授業メソッド」の構築をめざす。</p> <p>イ・1・2年生全員を対象に、GTECを活用して英語運用能力の向上を図る。 KITECを実施し英語会話能力の向上をめざす。 ・昨年度から始めた国際交流センター留学生との語学交流事業GULSを継続する。</p> <p>(2) ア・交流対象校と交流内容の充実を図るとともに、より継続的かつ双方向的な交流へと充実を図る。</p> <p>(3) ア・総合的な学習の時間を活用し、1年7月と2年11月に実施する体験型進路学習を通して、進路に対する意欲を高める。 1年生「職場訪問」 2年生「大学研究室訪問」</p>	<p>(1) ア・教職員向け学校教育自己診断の「高津授業メソッドの推進状況」に関する項目の肯定率[94%]を90%以上とする。</p> <p>イ・12月実施のGTECで、CEFR B1:130人以上で維持する[165人]。また、KITECを通して、英語運用能力が向上したと回答した生徒の割合[93%]を95%以上とする。 ・語学交流事業GULSの生徒満足度[91%]を90%以上で維持する。</p> <p>(2) ア・交流日数について4日以上で維持し続けるとともに、参加生徒の満足度を90%以上で維持する。</p> <p>(3) ア・体験型進路学習に対する生徒の満足度[97%]を90%以上で維持する。</p>	<p>(1) ア・1人1台端末や京都大学との共同研究による学習支援システムの導入などの他、ペアワークを多くの授業で導入するなど効果は上がっている。肯定率は96%。(○)</p> <p>イ・GTECで、CEFR B1:208人。KITECを通して、英語運用能力が向上したと回答した生徒の割合95.5% (○)</p> <p>・生徒満足度は100%。(○)</p> <p>(2) ア・交流日数は3日間であったが、すべてにおいて台湾、韓国、フィリピンと交流するなど対象は広がった。生徒の満足度は93.1%(◎)</p> <p>(3) ア・1年生63か所。2年生51か所で実施。オンライン等の活用により例年通りの連携数を維持。生徒の満足度98%。(◎)</p>
2 豊かな心のはぐくみと規律・規範の確立	<p>(2) 規律・規範意識の向上</p> <p>(3) 生徒の自主活動の活性化</p> <p>(4) きめ細やかな保健指導と教育相談体制の充実</p>	<p>(2) ・教員間で生徒指導方針を共有し、挨拶の励行と遅刻者数の減少に取り組む</p> <p>(3) ・記念祭(文化祭・体育祭の一括実施)等の行事に関して、引き続き、教職員と生徒が一体となって実施体制及び運営体制を整理し、新たな伝統創生をさらに進めることで、本校ならではの自治会活動のさらなる活性化を図る。</p> <p>(4) ・スクールカウンセラーによる助言等の機会を通して、生徒及び保護者の悩みの解消に努める。</p>	<p>(2) ・遅刻者数[2,377件]を2,000件以下にする。</p> <p>(3) ・行事後の生徒の満足度[文化祭・体育祭の平均97%]を95%以上で維持する。 ・生徒向け学校教育自己診断の自治会活動に対する肯定率[72%]を70%以上で維持する。</p> <p>(4) ・生徒向け学校教育自己診断の保健室利用、教育相談に対する満足度[89%]、保護者の学校への相談に対する満足度[85%]を、ともに維持する。</p>	<p>(2) ・遅刻者数[2,264件]。(○)</p> <p>(3) ・体育祭・文化祭とも時期を延期し文化祭を2日から1日にするなどがあったが満足度は99%であった。(◎)</p> <p>・自治会活動に対する肯定率79%。(◎)</p> <p>(4) ・保健室利用、教育相談に対する満足度90%、保護者の学校への相談に対する満足度86%。(○)</p>
3 教職員の資質の向上と学校運営体制の確立	<p>(1) 教科指導力の向上</p> <p>(3) ミドルリーダーの育成、経験の少ない教員の資質向上</p> <p>(6) 地域に開かれた学校づくりの推進</p> <p>(7) 安全衛生委員会の機能向上</p>	<p>(1) ・教員間の授業交流の促進、研究授業・協議を一層活性化させ、さらなる授業力向上に努める。 ・生徒による授業評価(年2回)や授業公開等を実施し、その結果を教員・教科にフィードバックし、授業改善に生かす。</p> <p>(3) ・より効果的・効率的な業務遂行が可能となる、本校らしいヒエラルキーを構築し、計画的なミドルリーダー育成に努める。</p> <p>(6) ・本校が行っている教育活動について、学校説明会や学校HP等を通じて、中学生やその保護者に積極的にアピールする。</p> <p>(7) ・「働き方改革」の流れを念頭に、教職員の安全及び健康の確保、ならびに快適な職場環境の形成の促進に努める。安全衛生委員会からさらなる情報発信に努めたい。</p>	<p>(1) ・生徒授業アンケート1～9全質問の平均値[3.36]を3.2以上で維持し、さらなる向上に努める。</p> <p>(3) ・教職員向け学校教育自己診断における、ミドルリーダーの育成等に関する肯定率[81%]を75%以上で維持する。</p> <p>(6) ・教職員向け学校教育自己診断における「教育活動を中学生や保護者に積極的にアピール」に対する肯定率[92%]を90%以上で維持する。</p> <p>(7) ・教職員向け学校教育自己診断における「教育活動に関する悩みや疑問の気軽な相談」に対する肯定率[79%]を80%以上とする。</p>	<p>(1) ・生徒授業アンケート1～9全質問の平均値は3.45。(◎)</p> <p>(3) ・肯定率は62%。役割が固定化する傾向があるのでより組織としての活性化を図る必要がある。(△)</p> <p>(6) ・「教育活動を中学生や保護者に積極的にアピール」の肯定率81%。新型コロナウイルスの影響もあり規模の縮小などを行った。(△)</p> <p>(7) ・「教育活動に関する悩みや疑問の気軽な相談」に対する肯定率66%。今後、情報共有やコミュニケーションの充実を図る必要がある。(△)</p>